

長崎大学リレー講座を 地域の恒例行事に

長崎大学リレー講座2011が好評のうちに終了しました。2回目の今回は、「東日本大震災後の日本を考える」というテーマの下、各界からお招きした7名の講師に、様々な視点から語っていただきましたが、全て心に残る素晴らしい講演でした。全体を通して、私自身は、いま日本は間違いなく重大な岐路に立っていること、進むべき途の選択にあたっては、空気に流されることなく、一人ひとりが自分の頭で冷静に考える必要があることを、心に刻むことができました。

それにしても、リレー講座に参加された皆さんの熱心さには、今回も感銘をうけました。大学関係者をはるかに凌駕する数の、老若男女、さまざまな立場、職域の市民の方々に加えて、高



校生の姿をチラホラ見かけたのも嬉しいことでした。そして、講演の内容を一言でも聞き洩らすまいという皆さんの集中力がすごいのです。講師の先生方の素晴らしいトークとあいまって、毎回会場を熱気と一体感が席捲しま

した。講演終了後、講師の方々の口から異口同音に、満足感とともに、長崎の聴衆の素晴らしさが語られたものです。あらためて、市民の皆さんの危機感や「知」への渴望の大きさを認識させられ、地域に在る大学の役割の大きさを

痛感させられました。変革期であればこそ、大学は地域に開放され、市民とともに考え、学び、議論し、そして発信する場でなければなりません。長崎大学リレー講座を、毎年秋冬の恒例行事として地域に定着させたいと思います。

長崎大学長 片峰 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
[チョーホー]
Choho Vol.38

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報Choho〇号から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡いたします。

特集	長崎大学の明日、日本のこれから	1
	長大さるく 「文教キャンパス編」	10
新コーナー	大学はわたしの仕事場	14
	グラバー図譜 「マツカサウオ」	16
	温故知新 「中部講堂」	18
	インフォメーション	20
	長崎大学「通」クイズ	21
	編集後記	21